

青き楓

学校評価 特集

島高だより
平成19年度5号
(通巻第23号)
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

1 はじめに

本校の教育活動の向上のために、今年度も学校評価を実施しました。生徒及び教職員については、2月に最終評価をおこないますが、今回は10月に実施した生徒・保護者及び教職員の学校評価の結果を中心に報告します。

2 アンケート集約数

(1) 生徒アンケート	回答数	798	(98.2%)
(2) 保護者アンケート	回答数	687	(84.5%)
(3) 教職員アンケート	回答数	54	(100%)

3 評価基準

- (1) 4段階評価 ※次の4段階 (4～1)
- ①「4」 そう思う (十分達成できている)
 - ②「3」 大体そう思う (おおむね達成できている)
 - ③「2」 あまりそう思わない (どちらかという達成できていない)
 - ④「1」 そう思わない (ほとんど達成できていない)
- (2) 評価数値は、回答者の平均値です。

学校評価に関する生徒アンケート (19年度) 10月実施

評価項目	No.	具体的評価内容	全体		1年		2年		3年	
			H18	H19	H18	H19	H18	H19	H18	H19
(1) 学校方針	1	島原高校に入学してよかった。	3.0	3.1	2.9	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1
	2	校是「文武両道」を目指して、自分なりに努力している。	2.8	2.9	2.8	3.0	2.8	2.9	2.8	2.9
(2) 教育活動	3	わかりやすく満足できる授業が多い。	2.8	2.8	2.7	2.9	2.9	2.8	2.7	2.8
	4	「総合的な学習の時間」は、役に立っている。	2.9	2.8	2.8	2.9	2.9	2.8	2.9	2.8
	5	各教科の評価については、十分に納得できる。	3.1	3.0	3.1	2.9	3.1	3.0	3.1	3.1
	6	進路関係の情報提供は、十分なされている。	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	3.2	3.3
	7	文化祭や体育祭など、学校行事は充実している。	3.3	3.3	3.5	3.4	3.2	3.2	3.2	3.3
	8	先生は、相談には親身になって対応してくれる。	2.9	3.1	2.7	3.1	3.0	2.9	3.0	3.3
	9	服装・挨拶、生活マナーなどの指導は適切である。	3.1	3.2	3.1	3.3	3.1	3.1	3.1	3.2
(3) 学校環境	10	清掃活動(掃除の時間)は積極的に取り組んでいる。	2.7	3.2	2.7	3.3	2.8	3.1	2.4	3.3
	11	学校の施設・設備は、充実していて満足できる。	3.1	3.2	3.1	3.3	3.1	3.1	3.1	3.3
	12	学校は、防災・危険防止など、安全面の配慮がなされている。	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3
(4) 地域連携	13	学校は、保護者や地域の人々に信頼されている。	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	3.0	3.3	3.3
	14	ボランティア活動は必要であり、機会があれば参加したい。	2.7	2.7	2.9	2.7	2.7	2.5	2.4	2.9
	15	地域の行事には、できれば参加した方がよい。	2.4	2.9	2.5	2.9	2.5	2.8	2.2	3.0
(5) 生徒活動	16	友人関係には特に課題はなく、クラスでも落ち着ける。	3.3	3.5	3.3	3.5	3.4	3.5	3.2	3.5
	17	服装・挨拶や生活マナーなど、日頃からきちんとしている。	3.0	3.3	3.0	3.3	3.1	3.3	3.0	3.4
	18	予習や課題は、計画的に行っている。	2.7	2.9	2.6	2.9	2.8	2.7	2.7	3.1
	19	復習は、計画的に行っている。	2.4	2.6	2.4	2.6	2.5	2.5	2.4	2.8
	20	授業には集中して積極的な態度で取り組んでいる。	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.2
	21	授業中の不明な点(わからない)まで先生や友達に質問している。	2.8	2.7	2.7	2.5	2.7	2.6	2.8	3.1
全体平均			2.9	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0	2.9	3.1

《生徒アンケート結果に伴う分析概要》

- 学校方針
 - 島原高校入学の満足度は高いが、一部、満足していない生徒がいる。個別指導等、きめ細かな指導が必要である。
 - 校是「文武両道」に関しては、結果も重要であるが、何よりも、取り組む姿勢と意欲、いわゆる目標達成に向けてのプロセスが大切であるという教職員間での共通理解が得られた。真の「文武両道」の実践に向けた師範同行の取り組みを、より一層進めていきたい。
- 教育活動
 - 授業についての生徒の満足度は、数値目標の3.0以上よりは今一步である。
 - 行事に関する評価は高く、生徒の相談にのるという教職員の対応や生活面の指導などに関しても評価は高くなってきている。
- 学校環境
 - 生徒の清掃活動の取り組みについての自己評価は高くなってきている。
 - 学校の施設・設備の満足度も高く、安全面の配慮に関する評価も高い。
- 地域連携
 - 保護者の学校に対する信頼度に関して、生徒の評価は若干下がっている。また、ボランティアに関する関心度は、学年により差があり、全体的には他の項目と比較するとあまり高くない。また、地域の行事に関する関心度は高くなってきており、地域の方々との交流や地域活動(ボランティア活動など)を実施する上では好ましいことである。
- 生徒活動
 - 友人関係やクラスでの落ち着き度は高い。また、生活マナーに関する自己評価も高くなってきている。
 - 家庭学習に関しては、数値は向上しているが目標値にはまだ達していない。まだまだ、生徒の計画的な取り組みが必要である。

学校評価に関する保護者アンケート (19年度) 10月実施

評価項目	No.	具体的評価内容	全体		1年		2年		3年	
			H18	H19	H18	H19	H18	H19	H18	H19
(1) 学校方針	1	島原高校に入学させてよかった。	3.6	3.6	3.6	3.5	3.6	3.6	3.7	3.6
	2	学校の指導方針は、生徒によく理解されている。	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	3.1	3.2	3.2
(2) 教育活動	3	学校は、学校便りやホームページなどで学校の様子をよく知らせている。	3.2	3.2	3.1	3.2	3.3	3.1	3.3	3.3
	4	文化祭・体育祭など、学校行事は、感動的で充実している。	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3	3.6	3.4
	5	教師は学習指導に熱意があり、生徒の信頼度も高い。	3.1	3.1	3.1	3.0	3.2	3.0	3.1	3.2
	6	教職員は、保護者の要望等に対して、適切に対応している。	3.3	3.0	3.2	3.0	3.3	3.0	3.3	3.1
	7	教師は、親身になって生徒の相談にのっている。	2.9	3.0	2.8	3.0	2.9	3.0	2.9	3.2
(3) 教育環境	8	学校は、清掃がきちんとされ、環境美化も良好である。	3.3	3.4	3.2	3.5	3.3	3.4	3.3	3.4
	9	学校の施設・設備は、充実していて満足できる。	3.3	3.3	3.2	3.4	3.4	3.3	3.4	3.3
(4) 地域連携	10	保護者は、PTA活動に協力的である。	2.8	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8	2.9	2.8
	11	PTA活動は、計画的に活発に行われている。	2.9	2.9	2.8	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9
	12	学校は、ボランティア活動に関心があり、積極的である。	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.8	2.8
(5) 生徒活動	13	計画的に家庭学習に取り組んでいる。	3.2	3.0	3.1	3.0	3.2	2.9	3.4	3.0
	14	挨拶・服装や生活マナーは、きちんとしている。	3.3	3.3	3.2	3.4	3.3	3.2	3.4	3.3
	15	学習と部活動を両立させようと自分なりに努力している。	3.3	3.3	3.2	3.4	3.3	3.2	3.4	3.4
全体平均			3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1	3.3	3.2

《保護者アンケートに伴う分析概要》

- 学校方針
 - 島原高校への入学満足度は高い。
 - 生徒の学校指導方針の理解度もまずまずの評価である。
- 教育活動
 - 学校便りやホームページなどの保護者の関心や活用度、また、学校行事への評価は高い。
 - 保護者の要望等に対する教職員の対応に関して、評価が低下しているが、生徒の相談に対する教職員の対応への評価は高くなってきている。
- 教育環境
 - 学校の環境美化や施設・設備に関する評価は高い。
- 地域連携
 - PTA活動、ボランティア活動に関しては、例年どおりの評価である。目標値(3.0)に今一步といった状況である。
- 生徒活動
 - 生徒の計画的な家庭学習に関する評価が低くなっている。全学年、低下している。家庭(保護者)との連携が必要である。
 - 生活マナーや文武両道の取り組みに関する評価は例年同様、高くなっている。

平成19年度 教職員による自己評価結果概要(過年度対比)

種類	H18	H19	点検項目と分析概要
1 教務全般 (学校の業務全般)	3.0	2.9	①教育改革(3.0) ②教育課程(3.1) ③時刻確保(3.3) ④学力充実(3.0) ⑤二極化向上(2.5) ⑥授業規程(3.1) ⑦家庭学習(2.5) 特に、学力・学習意欲の二極化防止策を講じる必要がある。今後も、本校の校是や教育目標に沿った教育活動を実施していきたい。
2 進路指導	3.0	2.9	①キャリアプラン(2.8) ②自学自習(3.1) ③補習等(3.1) ④模試等(2.8) ⑤就職対策(2.8) ⑥進路指導(2.8) ⑦新卒対応(3.0) 早めの明確な進路目標を設定させ、計画性をもった指導を行う。授業計画や授業改善推進事業等も継続して活かしていく。
3 生活指導	3.0	3.0	①品位(3.1) ②挨拶(3.0) ③規程(3.0) ④交通安全(2.9) ⑤規律モラル(2.8) 生徒の自覚をさらに高め、教職員の共感意識を図り、規律ある基本的な生活習慣を身につけさせる。今年度、携帯電話の学校への持ち込みが目立った。
4 文武両道	2.8	2.8	①人間育成(3.0) ②時間確保(2.7) ③学習意欲(2.8) ④学校行事(2.9) ⑤各種委員(2.7) 生徒の自覚をさらに高め、教職員の共感意識のもと、できることから確実に実施していく。限られた時間の有効活用が大切。
5 人間性陶冶	2.9	2.9	①環境美化(3.0) ②教育相談(2.9) ③危機管理(3.2) ④心の教育(2.8) ⑤読書活動(3.1) ⑥ボランティア(2.6) 基本的な生活習慣(挨拶、清掃活動、容姿等)の重要性を再認識し、生徒一人ひとりの夢づくりへの意識を高め実施させる。
6 開かれた学校づくり	3.2	3.2	①島高青楓塾(3.0) ②PTA活動(3.2) ③授業公開(3.1) ④学校便り(3.4) ⑤図書便り(3.3) HP(ホームページ)やWeb情報のさらなる充実に向け、タイムリーでわかりやすい情報発信を心がける。
7 職員研修	2.9	2.9	①教科研修(3.1) ②研修推進(3.0) ③生徒指導(2.7) ④環境整備(3.2) ⑤エコ・オフィス(3.2) より効果的で効果的な研修内容となるよう工夫する。教職員間の連携が不可欠。
8 学年学科	3.1	3.0	①全般(3.0) ②1年(3.0) ③2年(3.0) ④3年(3.1) ⑤理数科(3.3) それぞれの学年目標達成に向けての努力と学年間の相互の連携も深めていく。
9 教育成果	2.9	2.9	①島高魂(2.9) ②規範意識(3.0) ③学習力(2.7) ④生活習慣(3.0) ⑤健康安全(2.9) 全般的に一定の成果は安定しているが、まだまだ伸び率が引き出されていない面がある(学習面、部活動面、生活面)。さらなる島高魂の醸成を努めたい。

※ 学校評価アンケート調査の自由記述欄を設けましたところ、保護者の皆様には、多数のご意見・ご感想等をお寄せいただきました。改めて、本校に対する保護者の皆様の率直な願いや思いをいただきましたことに厚く感謝申し上げます。今後の教育活動に役立ててまいります。

【今後の改善内容・手立て】

◎ 学校評価アンケートの結果、現れてきた課題解決に向けては、本校の校是「文武両道」の具体的な実践を行うことにより、本校の教育目標である「島高魂」と「品位」の涵養が達成できると考え、下記の内容の実践に向けて取り組みます。

<本校の実情及び課題を考慮した取り組み>

①時間の確保・有効活用
(目標＝学力の向上＋各部の目標達成＝人間性の陶冶)
※すでに、各部(文化部・体育部)の目標を設定済み。
1) 家庭学習時間の確保・有効活用(計画的学習) → 学力の向上＝進路実現
・部活動時間、下校時刻の厳守(部員の意識と顧問の指導)
・家庭学習の計画的・継続した活動(担任、部活動顧問の把握と指導)
2) 部活動時間の確保・効果的活動 → 目標達成
・SHR後の部活動開始を機敏に行う。
・限られた時間での計画的・効果的活動。
(文化部:目標設定、計画的活動、他校との交流等)
(体育部:スポーツ医学の活用、練習メニュー作成…日・週・月・年間)
・精神的、体力的ゆとりも必要(効果的な休養設定)
(各部の実情に合わせて、週又は月に1回は休養日設定)

②学級担任、教科担当の関わり方
1) SHR後の部活動時間の確保への配慮。
2) 週末課題を早めに生徒へ渡す(生徒からの要望)。
3) 課題の各教科の量の調整(生徒からの要望)。

③顧問の関わり方
1) 目標実現に向けての状況把握。
2) 顧問の責任のもと、下校時間を徹底させる。
3) 部員の学業成績・生活面の把握及び指導。
4) 保護者が安心して、部活動を頑張ってもらいたいという状況を作る(保護者との連携)

④部長会の開催
(目的)
1) 各部目標設定に向けての取り組み状況の確認、アドバイス。
2) 各部間の連携を深め、島高を考える。
3) スポーツ医学の提供(体育部)。
4) 部長会の内容を顧問会、部活動集会で反映させる。
5) 地域でのボランティア意識を高める(地域との連携、チーム力の向上)。

剣道部男女団体アベック優勝(史上初)

第24回九州高等学校選抜剣道大会

どの試合も僅差で勝ち上がり、はらはらすることもありましたが、選手1人1人が自分の力を出し切ったことで得られた勝利だと思いました。



全国大会出場決定!

第17回全国高等学校選抜剣道大会(男子)
愛知県春日井市(3/27～28)

第51回全国高等学校選抜レスリング大会
新潟県新潟市(3/27～29)

- 団体
- 個人
- 50kg級 吉田拓郎
- 55 " 本多孝純
- 66 " 岩永晃範
- 84 " 村上貴之
- 96 " 松坂鴻晟
- 96 " 馬場貴大